

株式会社 ファミリーマート 御中

ベトナム社会主義共和国  
メコンデルタ、ドンタップ省における災害弱者のための  
災害・気候変動対応能力強化事業

第1四半期報告書(2017年2月～2017年4月)



2017年6月

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



## 1. 事業概要

事業名	メコンデルタ、ドンタップ省における災害弱者のための災害・気候変動対応能力強化事業
対象国・地域	ベトナム社会主義共和国 ドンタップ省、ホングー（Hong Ngu）郡内の2コミュニティ、2校 ※ 今後、郡及びコミュニティ数、学校数が変更される予定。
事業期間	2017年2月～2018年1月（12ヵ月間） ※ 今後の対象郡の変更により3か月程度の延長の可能性もあり。
報告期間	2017年2月～2017年4月
予算	5,000,000円
受益者数	直接裨益者数：3,400人（5歳～14歳の子ども、教員を含む行政官） 間接裨益者数：26,200人（地域住民） ※ 今後の対象郡の変更により一部変更の可能性あり。
事業目的	対象地域の災害・気候変動に対する対応能力を向上させるため、適切な人材が育成され、体制が立ち上がる。
事業概要	ベトナム南部メコンデルタに位置するドンタップ省ホングー郡の2コミュニティ、2校（小学校2校）に対し、防災教育及び災害リスクを軽減するための技術訓練を行い、生徒及び教員の防災知識、技術を向上させる。 ※ 今後の対象郡の変更により一部変更の可能性あり。

## 2. 活動進捗

第1四半期においては、ベトナム政府より事業実施にかかる承認を待つ間、事業実施の連携先となる政府機関（ドンタップ省教育訓練局、農業農村開発局）との関係構築、及び協力内容についての打ち合わせ等を行いました。

- 2月には、海外援助事業の調整を管轄する政府機関であるドンタップ省の友好同盟組織<sup>1</sup>、同省教育訓練局、そして自然災害対策委員会（Committee for Natural Disaster Prevention and Control）と打ち合わせを行い、事業概要の確認を行いました。また、本事業では、ベトナムで活動する他の国際NGOの事業と同様に、政府（省の人民委員会）から活動開始に際して承認を得る必要があることから、ドンタップ省人民委員会と事業の承認プロセスについて確認し、友好同盟による省人民委員会に対する事業申請作業を支援しました。
- 3月には、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンのスタッフが事業対象地であるドンタップ

<sup>1</sup> Union of Friendship Organization：ドンタップ省人民委員会の傘下組織で、政府と国際NGO間等の調整を管轄する政府関係組織。ベトナムでは各省に同様の組織が配置されている。

省ホングー郡の2つのコミューンを訪問し、コミューンレベルの行政関係者との意見交換、各コミューンのリーダー及び災害の影響を受けやすい地域に暮らす住民からの聞き取り、そして対象地の小学校の訪問を実施しました。

これにより、コミューンにおける災害への脆弱性について、大きく下記の二点が課題として浮かび上がってきました。

#### 1. インフラが未整備で、災害リスクが高い

- ✓ 特に既存の橋に極めて脆弱なものが多く、橋から川に落ちる人々が多い。
- ✓ 堤防の土手が決壊し始めているところがある。
- ✓ 増水した時に拡声器の音が聴覚障害者には聞こえないため、対策が必要。

#### 2. 泳げる生徒が少なく、溺死のリスクが高い

- ✓ プールがない学校の生徒の大半は泳げない。泳げる生徒もプールでは泳げるが、川で泳ぐことはできない。また、女子はほとんど泳げない。

(かつてメコンデルタ地域の河川や水路の水質には問題がなく、今の子どもたちの親世代は遊びを通じて水に親しみ、自然に泳ぎ方を習得していた。しかし、現在は農薬汚染などにより水質が劣悪になり、子どもたちは水と触れ合う機会を奪われたことから、普段の生活の中では泳ぐ技術を習得できない状況になっている。特に女子ではこの傾向が顕著である。よって、地域の中で子どもたちに安全な水と環境の中で水と親しむ機会を作り、水にまつわる事故を最小限に抑える取り組みが必要となっている。)

- 政府からの活動に関する承認を得られ次第すぐに活動が開始できるよう準備を進め、地域に根ざしたコミューン主体の防災管理体制を構築するための指導者育成研修の実施準備や、ベースライン調査を行うコンサルタントとの業務契約手続き等を行いました。
- 本事業では、事業の実施運営及び事業のモニタリングを中心に担う行政側の機関として、「事業運営委員会」を立ち上げ、日々の事業のモニタリングを行っていきます。事業運営委員会のメンバーは、主に省と郡の人民委員会の職員を想定しています。今期では当委員会に対するモニタリング研修のための教材準備を始めました。

### **活動1. 災害弱者に配慮したコミューン主体の防災管理体制の確立**

#### **1-0. ベースライン調査**

5月の実施予定のベースライン調査を行うコンサルタントの選定を進めました。

#### **1-1. 対象コミューンにおける防災・減災対策委員会への防災・気候変動対応に関する知識提供、参加型災害リスク・対応能力調査と防災計画策定ワークショップ (ToT) の実施及び各コミューン住人へのワークショップの実施**

地域に根ざしたコミュニオン主体の防災管理体制の構築を目的に行う指導者育成研修を実施するコンサルタントの選定を完了しました。政府からの承認が降り次第、研修を開始する予定です。

#### 1-2. 住民に対する活動計画の共有を含む防災に関する啓発活動の実施

政府からの活動の許可が下り次第、事業計画に合わせて活動を行っていきます。

### 活動 2. 学校における安全な教育環境づくり

#### 2-0. ベースライン調査

上記「活動 1, 1-0. ベースライン調査」をご参照ください。

#### 2-1. 防災教育のカリキュラム化及び課外活動を通じた防災教育実施のための教員への ToT 研修の実施・実施のための環境整備(プールの供給、体育教員への水泳指導研修、子ども防災クラブの実施等)

政府からの活動の許可が下り次第、事業計画に合わせて活動を行っていきます。

### 3. 課題・変更点

#### 3-1. 課題

- 本事業の連携事業に該当する「外務省 NGO 連携無償資金協力事業」の契約が当初計画より遅れ、2017年2月に締結されたため、事業開始に遅れが生まれました。
- 2月以降、ベトナム政府からの事業承認を待っており、5月には政府からの承認が出る見込みでしたが、同月に一度は下りた承認が取り下げられ、ドンタップ省友好同盟組織から対象郡の変更を勧告する文書が発出されました。承認取り下げの理由として、カンボジアと一部国境を接する同省ホングー郡にて国境地帯での緊張が高まっていることから、事業実施に際し安全管理面で懸念があることが挙げられています。従い、本事業ではドンタップ省において、新たな事業郡とコミュニオンを選定する調査及び手続きを行っている状況です。現時点(6月現在)では、新事業郡としてホングー郡の南東位置に隣接するタムノン(Tam Nong)郡が候補として挙げられています。

本件に関しましては、新候補地が決定次第、ご報告させていただきます。その後、実際の活動開始に先立ち、これまでと同様に政府承認手続きが必要となりますが、承認のための期間は通常想定される1~2か月よりも短縮される予定です。

#### 3-2. 変更点

上記「3-1. 課題」をご参照下さい。

#### 4. 今後の活動予定

- ※ 事業対象郡の変更に伴い、新事業対象地域での開始は8月頃になる見込みです。追って更新されたスケジュールをお送りいたします。社員参加の可能な活動時期に関しても併せてご相談させていただきます。

5. 活動写真 (すべてドンタップ省ホングー郡にて2017年3月に撮影)



バイクがひっきりなしに走るこの橋は、通るとガタガタしますが、この地域では最もしっかりした橋の一つです



ドンタップ省ホングー郡行政関係者(人民委員会スタッフ)との打合せ



洪水被害の影響を受けやすい地域での家庭訪問調査



事業チームによる小学校の生徒たちへの聞き取り調査



小学校は2階建ですが、地盤が弱く、所々にひびが入っています

## 添付資料：ケース・ストーリー

### 子どものための水泳の練習は学校にとっての最優先事項

ベトナムにおいて子どもの溺死は深刻な問題でありドンタップ省も例外ではありません。ホンゲー郡のトゥオン・プオック 2 地区の小学校には、300 人以上の生徒が在籍していますが、8～13 歳の生徒に聞き取りをした結果、70%以上が泳げないことが判明しました（このうちの 90%は女子生徒です）。大小の川に囲まれているこの地域の子どもたちにとって、泳げないことは大きなリスクといえます。同郡では、地元の赤十字や教育訓練局が川で水泳の練習を行っていますが、必ずしも安全な訓練とはいえません。

子どもたちに聞き取りを行ったところ、移動式プールの提供と水泳の練習を心待ちにしている、とのことでした。子どもたちは、雨季のリスクに対応するために、水泳を必要なスキルとみなしているのです。

セーブ・ザ・チルドレンのベトナム事務所では、メコンデルタ地域のティエン・ジアン省とカ・マウ省にて、溺死予防対策で既に成功した実績も持っています。